



Program

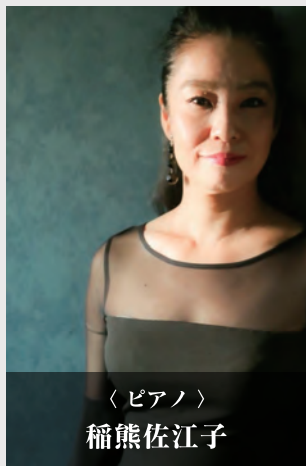
四手連弾ピアノのためのソナタ (2021/22)
ヴィブラフォンソロの為の間奏曲 (2021/22)
ヴァイオリンソロの為の IMMAGI VI (1992)
四手連弾ピアノと打楽器の為のソナタ (1989/90, 2024 改訂)
他

Thomas Meyer-Fiebig

トーマス・マイヤー＝フィービッヒ

室内楽 作品個展

2025



〈ピアノ〉
稲熊佐江子



〈ピアノ〉
谷美鈴



〈パーカッション〉
佐久間真理



〈ヴァイオリン〉
三好孝市

2025 **3.15** [土] 開演 15:00 (開場 14:30)

Halle Runde (名古屋市昭和区桜山町 1-21)

チケット代金 (全席自由)

前売り：4,500 円 当日：5,000 円

* 未就学児のご入場はお断りいたしております。

チケットの購入はこちらから

チケットぴあ Pコード：283-786 / 芸文プレイガイド 052-972-0430
ルンデ <https://dbf.jp/runde/a250315>

〈お問い合わせ〉 二宮音楽事務所 052-505-0151

主催：Th. マイヤー＝フィービッヒ作品個展演奏会制作委員会 / 協力：Halle Runde / マネージメント：二宮音楽事務所

地上での生を終えた時、今日きいた音楽を思い出したいと思いました。
私にとってすばらしい時でした。ありがとうございます。

[2019年作品個展（名古屋市民芸術祭特別賞受賞公演）で頂いたご感想より]



稲熊佐江子（ピアノ）

Saeko INAKUMA

名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業。愛知県立芸術大学及び大学院修士課程修了。名古屋市文化振興事業団主催「第21回新進演奏家紹介オーディション」にて、優秀賞受賞。アリエッタフレスカピアノコンサート、ディーナ・ヨッフエクラスコンサート、Y〇SEコンサートなど数多くのコンサートに出演。カナダのセント・ジョーン弦楽四重奏団や、セントラル愛知交響楽団など数多くのオーケストラと共演。2013.2018.2021年電気文化会館にてソロサイタル開催。2021.2022年5R hall&galleryにてソロサイタルを開催。2024年10月12日にはサタデーモーニングコンサートに出演。2025年9月6日ソロサイタル開催予定。精力的なソロ活動の他、トリオクルヴェット、Four Notesとしてアンサンブル活動、パーティー、サロンコンサートにも多数出演。
これまでに定行和子、佐野翠、故小津恒子、故田辺縁、故へんリエッタ・ミルヴィス、ディーナ・ヨッフエ、赤松林太郎の各氏に師事。現在、名古屋柳城短期大学非常勤講師。



谷美鈴（ピアノ）

Misuzu TANI

名古屋市立菊里高等学校音楽科、桐朋学園大学卒業後、フライブルク音楽大学大学院を最優秀賞を得て修了。中日賞、伏見賞を受賞。第5回アンドラ国際ピアノコンクール第2位。ドイツ国立音楽大学演奏会シリーズにフライブルク音楽大学より派遣されるなどヨーロッパ各地のコンサートに多数出演。NHK-FM出演を始めベルリン弦楽四重奏団、ドイツ・ヒルデスハイム市立歌劇場管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団と共演。帰国記念日サイタルは日本演奏連盟/山田康子奨励・助成コンサートに選出された。名古屋柳城短期大学、名古屋文化学園保育専門学校、桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」名古屋教室非常勤講師。（公社）日本演奏連盟、（公社）日本ピアノ教育連盟会員。
Trio Réveilのメンバーとして活動する他、ソロや器楽の伴奏など幅広く活動している。



佐久間真理（パーカッション）

Mari SAKUMA

京都市立芸術大学音楽学部管打楽器専修卒、同大学院音楽研究科打楽器専攻修了。ジャンルを越えたパーカッションリストとして指名を受け、プロオーケストラや室内楽の各種演奏会、作曲家個展、CD録音やイベント等に多数出演、その躍動感あふれる演奏スタイルには定評がある。また、打楽器アンサンブル「マリンバアート」として、2006年よりプロアマ問わず50余名の打楽器奏者が結集する「打フェスタwithマリンバアート」を連続開催中。打楽器2人とピアノによるアンサンブル「コラボックル」では、「3人とは思えない驚きのサウンド」を目指して活動している。マリンバアートとして平成24年度、コラボックルとして令和3年度に愛銀教育文化財団助成受贈。同朋大学、金城学院大学、名古屋文化学園保育専門学校、各非常勤講師。



三好孝市（ヴァイオリン）

Koichi MIYOSHI

1968年札幌生まれ。幼少よりヴァイオリンを始め、札幌交響楽団創始者の荒谷正雄氏に師事。小学4年生時に、STV(札幌テレビ)主催の青少年音楽コンクールにて最優秀賞受賞。北海道大学在学中にレナード・バーンスタインやマイケル・ティルソン・トーマスらの指揮のもとで演奏。卒業後、東京を拠点に在京のオーケストラのエキストラを中心に室内楽などの活動を行う。活動拠点を愛知に移した後、現在は定期的にソロや室内楽の演奏会を行いつつ、オーケストラや吹奏楽の指導、指揮などの活動も行っている。2021年の、6回の無伴奏サイタルシリーズ、2022年以降、『ベートーベン・ヴァイオリンソナタ全曲』、また、2024年にはオルガンの吉田文との『バッハ・ヴァイオリンとクラヴィーアのためのソナタ全曲』など精力的な音楽活動を行っている。



トーマス・マイヤー＝フィービツヒ

Thomas Meyer-Fiebig

ドイツ・ビーレフェルト市マリエン教会の主任牧師を父とし、幼少の頃からパイプオルガンを始めとする教会音楽一般に多大な影響を受けながら育つ。ドイツ国立アトモルト音楽大学作曲科、同大学院作曲課程科卒業。作曲をヨハネス・ドリースラーとギセルヘル・クレーベに師事。1978年来日以後、国立音楽大学及び大学院にて作曲科の教授として後進の指導にあたる一方、ドイツ各地の大学にても特別講義講師としてたびたび招聘されている。2015年退官。
作品の分野は諸編成の交響曲、室内楽曲、声楽曲から和楽器のアンサンブル曲等にも及び、中でもパイプオルガンのための作品はその創作活動の中で重要な位置を占める。これらの作品は世界各国の多くの演奏家により取り上げられ、ドイツ放送局、西ドイツラジオ、ヘッセン放送局、NHK等の放送局等によっても頻繁に収録、放送されている。パイプオルガン曲、並びにピアノ曲を中心とした室内楽作品がドイツのメーゼラー出版社と全音楽譜出版社より出版される。
作曲家としての活動の傍らオルガニストとしても活発な演奏活動を続けており、1998年にはドイツのエルツ山脈地方ナッサウのジルバーマン製作の歴史的オルガンにてCDを収録した。
国立音楽大学名誉教授。令和元年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞。

チケット販売 ▶▶ 芸文プレイガイド（052-972-0430） / ブレイクカフェ（Halle Runde 1階）

感染症対策のためのお願い

- 発熱（37.5℃以上）および体調不良の方のご来場はお控えください。公演後でも構いませんのでご連絡いただきましたら、ルンデ主催の他公演への振替をいたします。
- マスクをご持参ください、ロビーより着用をお願いいたします。
- 感染症の流行状況により、席数を減らして公演を行う場合がございます。ご希望の席がご用意できない場合がございますことご了承ください。
- 詳しくは下記 URL よりご確認ください。

[Halle Runde ポリシー]

<https://dbf.jp/plazza/index.cfm?page=hallpolicy>



一般財団法人 ルンデ

〒466-0044 名古屋市昭和区桜山町1丁目21番
TEL：052-846-8566 / E-mail：runde@dbf.jp

[アクセス]

- ホールへお越しの方の駐車場ご利用はお断りいたします。
- 名古屋駅からは、名古屋市営地下鉄桜通線
金山駅からは、名古屋市営バスをご利用ください。
- ・名古屋市営地下鉄桜通線・鶴舞線「御器所駅」3番出口
- ・名古屋市営地下鉄桜通線「桜山駅」1番出口
- ・名古屋市営バス「桜山」
(それぞれ徒歩10分程度)

<https://dbf.jp/runde/>

